

年頭のあいさつ

一般社団法人 神奈川県建設業協会
会長 松尾 文明



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはご健勝にて新春を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は当協会の活動に対しまして多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、ウクライナや中東問題、円や物価の乱高下、グローバル経済の分断化による物流の混乱など、予測不能の状況が続きましたが、国土強靱化政策などによる公共工事や、民間の再開発を始めとする住宅投資が活発であったことから、国内建設業は活気を取り戻し、3年間苦しんだコロナも第5類宣言が出され、当協会の活動も皆様のご協力を得て平常を取り戻すことができました。ありがとうございました。

一方、経済活動の回復に伴い、我々建設業は元々言われていたことがあります、「団塊の世代の大量退職による人手不足」が現実となり、若手の入職も進まない中、技術者も職人さんも、人手を確保することが至上命題となってきました。

新年度から始まる時間外労働規制をしっかりと守ること、週休2日制も確実にしながら、建設をゆとりある職場にする一方、ICT施工や遠隔臨場、BIM/CIMといったDXを積極的に取り入れ、建設の効率化にも取り組まなければなりません。特に職人さんの不足は深刻です。これまでのように職人さんの育成を下請け協力業者さんだけに任せるのではなく、元請も一緒に育てていく必要があります。今、協会では教育現場で学生生徒さんの技能教育のお手伝いもしていますが、これも人を育てる一助けになればと考えています。

結びに、会員の皆様にとって本年が良い年になりますよう心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。